

1. 管理運営の基本方針

<管理運営の4つの柱>

1. 東京 2020 の感動を次世代へとつなぐ、世界に誇れる「水上競技の聖地」を創造

当共同企業体の持つスポーツ・レジャー施設と国際競技大会で培った経験と知恵を結集し、世界最大のスポーツの祭典の成功に最大限尽力します。また、東京 2020 の感動を次世代につないでいく取組で、**水上競技の普及振興とアスリート育成の核となる「水上競技の聖地」**を創造します。

2. 「海・森・人」3つの魅力の融合で“にぎわい”を創出し、アーバン・リゾートを実現

東京 2020 終了後は、スポーツ・レジャーを通じて**多くの人々が楽しみ、輝くことのできる“にぎわい”**を創出し、この人工島をこれまでの物流拠点からヒト・コトの交流拠点として価値を発揮するとともに、成熟都市・東京にふさわしい、水と緑の豊かさ、大切さを体感できる自然回帰型のアーバン・リゾートを提供します。

3. あらゆる人のチャレンジ精神を全面サポートし、インクルーシブな社会の実現に寄与

東京都が掲げる施策のひとつである「多様性を互いに尊重しあう共生社会の実現」を念頭に置き、当共同企業体の障がい者スポーツ支援事業のノウハウを活かし、様々な目標に向かってチャレンジするトップアスリートから、障がい者アスリート、老若男女を問わず、**一人ひとりに寄り添ったサポートを提供**します。

4. 新規恒久施設を核に地域社会・都民と共に成長するエリアマネジメントを推進

海の森公園（仮称）、若洲海浜公園、東京ゲートブリッジなどの地域資源の連携利活用に取組み、エリア全体の「レガシー創出」を図ります。そして、東京港の玄関に位置するこの島への愛着心を醸成しながら地域コミュニティ形成に努め、**新規恒久施設を核にエリアマネジメントを推進する先駆的存在**になります。

<管理運営のスローガン>

私たちは、共同して「一生懸命に漕ぎます」  
あらゆる人々のチャレンジと心と体の健康のために  
世界ならびに次世代に誇れるレガシーとすることを願い、未来志向を信念に着実なマネジメントに挑戦します



**Rowing for the LEGACY !**  
**Rowing to the FUTURE !**

私たちは、東京 2020 のレガシー創出と  
輝かしい未来に向かって漕ぎ出します

<基本方針を受けた 12 の実施方針>

「**競技利用**」、「**都民利用**」、「**周辺施設との連携**」の3つの視点に留意し、当施設に関わるすべての人々に安全・快適を提供します。また、来場者 35 万人と大会・合宿誘致件数に加えて、独自に利用者満足度の数値目標を掲げ、成果の見える化を図ります。

①国内外の水上競技大会の開催

**【成果目標】国際大会(年間4大会)と国内大会(年間26大会)の誘致**  
国営の国際レガッタコース(岐阜県)を開場準備から17年以上管理運営してきた実績と、水上競技団体との信頼関係に基づき、効果的な誘致活動を展開

②アスリートの強化、育成の場の提供

**【成果目標】強化・育成合宿(年間51回)の誘致**  
広域的な誘致活動を展開、交流戦のマッチングや指導者を紹介する仕組みなど、地方と東京、人と人をつなぐ取組を強化

③都民に水上スポーツ体験、水上レジャーの機会を提供

「スポーツを、する、みる、支える」を重視し、都民が気軽に水上スポーツに参加・体験できる機会を充実

④海の森公園（仮称）との連携

都の施設として、利用者の安全・快適の向上と業務効率化につながる取組を提案共有・補完しあうことで利便性や多目的性の高まる事業プランを提案  
公園との連携イベントとして、アウトドアとスポーツ、環境学習とキャンプ、夜景など、2つの施設の資源を掛け合わせることで価値が増大するイベントを提案

⑤競技団体との連携

WIN-WIN の関係を構築し、欠かすことのできないパートナーとして、アスリートと都民にとって有益な事業を展開

⑥施設のサービス・魅力向上

**【成果目標】利用者アンケート調査 お客様満足度 80%以上**

⑦スポーツ情報の発信

競技大会やイベント、水上競技に関する情報などの提供  
東京 2020 メモリアル展示、オリンピックとの交流プログラムなど、体験型の情報提供も充実

⑧東京都の施策・事業及び東京 2020 大会への協力

観光振興、教育支援、環境保全、復興支援などの社会貢献事業に取組む  
東京 2020 の計画、準備、本番、後利用の過程において柔軟に対応

⑨効果的かつ効率的な管理運営

効果的・効率的な管理運営、無理無駄のない収支計画とスタッフ配置計画  
アセットマネジメントの推進

⑩安全の確保

利用者の安全確保を最優先、経験・実績をもとに様々な事態に速やかに対応

⑪都立体育施設としての役割

公共の施設として利用者・関係者への親切丁寧、公平平等な対応、コンプライアンスの遵守、都立体育施設全体のサービス底上げに貢献

⑫PDCAサイクルの構築

PDCAの各プロセスにおいて自ら業務を点検・評価  
当共同企業体運営委員会を組織し確実な履行を徹底

2. 施設の提供、運営に関する業務

2-1 休館日及び開場時間

休館日及び開場時間 ◇水上競技シーズン（3月～11月）は休館日を設けません。  
◇水上競技利用者（宿泊室利用者及び専用使用団体（大会、合宿））からの要望により、早朝と夕方の時間を開場します。

利用の調整

◇「管理運営基準」の規定に準拠し、利用者ならびに利用希望者に公平平等な対応を行います。  
◇専用利用の各競技団体とのスケジュール調整会議を4月頃に実施し、各団体同士の調整の場として活用していきます。

利用料金

◇利用者に満足いただける料金設定で、優れたスポーツ環境と利便性、快適性を提供します。

2-2 施設の運営

競技コース等 ◇ハード・ソフトの両面において、安全・快適が約束された施設であるとともに、東京 2020 のレガシーとして、また「水上競技の聖地」として、アスリートから都民まで広く親しまれる施設であるために適切な管理を実施します。

水門・揚排水ポンプ 艇庫

◇国際水準の競技環境を維持するために、きめ細やかな点検と適期の操作、保守管理、安全管理を徹底します。  
◇個人所有の艇・貸出用の艇の危害、破損、盗難などがないよう、責任を持って管理します。  
◇利用者や作業員による不測の事故を防止するため、スタッフ・利用者のルールを定め、わかりやすく表示するなど、安全管理・防犯管理の意識を徹底します。

トレーニングルーム 更衣室・宿泊室

◇世代や嗜好にかかわらず誰でもトレーニングに取組むことのできる安全・安心な環境づくりと、初心者、運動継続者、アスリートなど、運動取組レベルに応じた場を提供します。  
◇公共の施設であることを十分認識した保守・点検を行い、安全・快適・清潔な施設環境を維持するとともに、利用者満足度の高いサービスを提供、スポーツ・レジャーの活動が有意義かつ思い出深いものとなるよう努めます。

2-3 施設内サービス及び東京 2020 大会のメモリアルの展示

施設内サービスに関する業務 ◇「公共サービス基本法」に則り、誇りとおもてなしの心をもって誠実にサービスを提供します。  
◇利用者の声を効果的に収集し、対策や分析結果を迅速に公表します。  
◇利用者からの苦情は、正規職員が対応することをルールとし、責任の所在を明確にした体制をとります。

東京 2020 大会のメモリアルの展示に関する業務

◇東京 2020 の感動とかけがえのない記憶を次世代に継承するため、「スポーツを、する人・みる人・支える人」に加え「知る人」の機会となるよう、当施設で実施された競技に関する物品や資料を展示します。  
◇「2005 年世界ボート選手権」での実績と、国営公園内の文化施設や歴史施設での企画展示などの実績を活かし、利用の導線等を考慮した質の高い展示を実施します。



3. スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務

3-1 事業の提供

スポーツ振興事業

◇東京都スポーツ推進総合計画の目標である「スポーツの力で都民のスポーツ実施率70%を達成し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」の実現のため、子どもから高齢者、障がい者までが気軽に楽しめる、スポーツ実施率向上と心と体の健康に貢献する事業に取り組めます。

◇東京2020を応援していた人、感動をもらった人から、スポーツをする人、みる人、支える人になる“きっかけ”となる、魅力的なスポーツ体験プログラムを提供します。

実施事業	コンテンツ例
水上競技の体験教室	ボート、カヌー、ドラゴンボート、SUP
子ども体育教室	室内（マット、跳び箱、鉄棒）、 屋外（かけっこ、体操）
フィットネス・トレーニングプログラム	ウォーキング、スロージョギング、 ヨガ、ダンス、エアロビクス、太極拳
レクリエーションプログラム	誰でもできるニュースポーツ（ポッチャ、フライングディスク、輪投げなど）

◇スポーツ体験プログラムは、世代、地域、社会のニーズを掴んだものとし、指導者は競技経験者や指導資格保有者を招聘することで、参加する人にも見守る人にも安心・信頼できるサポートを提供します。

自主事業

◇管理運営の柱である『海・森・人』3つの魅力の融合で“にぎわい”を創出』を図ることを目的に、当施設の持つ空間・機能を存分に活用し、スポーツ・健康・文化をテーマとした多彩なイベントやレクリエーション活動など、都民の来場意欲を誘発する話題性のある取組を展開します。

◇スポーツ・レジャーを通じて多くの人々が楽しみ、輝くことのできるヒト・コトの交流拠点として、新たな利用者層の拡大と全般的・広域的な利用を促進し、年間の自主事業利用者数20,000人の達成を目指します。

- チャレンジを応援する海の森アウトドアフェスティバル（仮称）の開催
- 子どもたちの記憶に残るキャンペーンを開催
- 海の森スポーツフェスティバル（仮称）の開催
- 冬季の日常利用と芝生広場の有効活用を促進するドッグランの開設
- マラソン・ウォーキングコースの開設による大会利用とセルフトレーニングの促進
- 嗜好性の高いスクール・フィットネスの開講による自主的な継続利用の促進

◇豊かな水と緑の環境の中で、自然と都市の調和の大切さを実感できる場所として、自然回帰型のアーバン・リゾートを提供し、成熟都市・東京にふさわしい、新たなスポーツ・レジャーの目的地として定着させます。

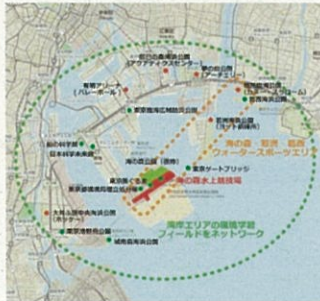


周辺連携事業

◇海の森公園（仮称）や東京2020会場施設、海上公園、都市公園などと連携し、エリア一体となったマネジメントによりレガシーの創出に取組みます。

◇当施設と海の森公園（仮称）を核とする『海の森エリア活性化プロジェクト』（仮称）を立ち上げ、地域社会・都民の参画を促進し、愛着心と一体感を醸成しながらコミュニティの形成に努め、豊かな環境と各施設の資源を融合させた“にぎわい”を創出することで、地域の価値を高めます。

- 【施設の価値向上】海の森公園（仮称）との連携により2つの施設の魅力を最大化
- 【エリア周遊の促進】東京2020レガシーとエリアの魅力を伝えるガイドマップの制作
- 【教育支援】海の森エリアを加えた社会科見学ルートの設定
- 【地域活性】東京の豊かな“食”をテーマとしたフードマーケットの開催
- 【防災復興】「復興五輪」をおもてなしの花で彩る取組
- 【産学連携】海の森ならではの研究・活動により「スポーツを支える人」を支援
- 【都民交流】健康・仲間・絆をつくる「絶景ロケイング（仮称）」を開催



利用者に対するサービス提供事業

◇あらゆる利用形態とお客様のニーズに応える質の高いサービスを提供します。モニタリング調査などにより、常にサービスレベルの確認と改善を行います。

- 売店運営/充実の品揃えとお客様ニーズに応えたサービスを提供する
- 自動販売機/スポーツ利用者、障がい者スポーツを支援
- 駐車場運営/身体に不自由を持つ方への配慮・効率的な運営
- レンタルサービス/お客様のニーズに寄り添い、リピーター利用を促進

3-2 施設の事業を支える仕組み

広報

◇認知度向上と利用促進を目的として、年間の広報計画を作成の上、独自の「広報マニュアル」と実績やネットワークを最大限に活用して実施します。

- 年間広報計画を作成し、施設の魅力を効果的に発信
- ネットワークと実績を活かした広報
- ホームページとSNSを連動させた情報発信で話題性アップ
- ノウハウをいかしたプレスリリースの作成・発信
- 利用者の意見を広く収集し、情報発信をより効果的に

4. 組織及び人材

4-1 効果的かつ効率的な組織体制の確保 4-2 明確な責任体制の構築 4-3 適切な勤務体制等

◇多様なニーズに柔軟に対応できる人材を配置します。

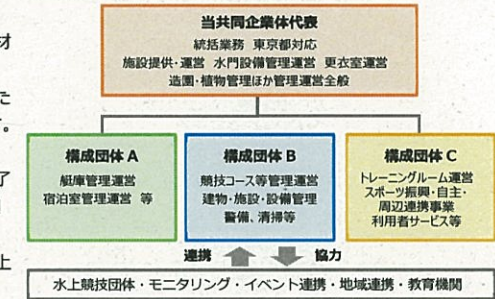
◇本施設の運営に必要な経験と専門性を有する適切な人材を配置します。

◇開場時間や宿泊室の運営、大会スケジュールに合わせた体制で、競技者や来場者へのサービス水準を維持します。

4-4 人材育成の取組

◇「準備期間」、東京2020大会準備から大会後の工事終了までの「維持管理期間」、後利用が開始される「運営期間」の3つのステージを意識した人材育成に取り組みます。

◇満足度向上・管理全般、安全管理等、利用サービス向上に関する研修を計画的に実施します。



5. 施設の維持管理その他管理運営に関する業務

5-1 施設、附属設備及び物品の維持管理

施設、附属設備及び物品の維持管理

◇施設長を「施設等管理責任者」、施設長補佐を「物品管理責任者」に任命し、迅速かつ適切な維持管理を行います。  
◇「施設設備管理台帳」の作成、「物品管理者別物品一覧表」等の記録をデータ化し、適切に管理します。  
◇点検や修繕の結果をデータ化し、予防保全に活かすほか、アセットマネジメントを推進します。  
◇塩害を踏まえた管理計画、資格と経験を有する業務責任者等を配置し、安全・衛生・機能の確保に努めます。

施設の修繕

◇不適切な使用や高頻度の使用、不可抗力による施設の不具合に対する「経常修繕」、計画的な「計画修繕」を行います。  
◇施設管理責任者が緊急度や危険度、工期、費用面等を考慮したうえで、総合的に手法や時期などを判断します。

5-2 その他管理運営に関する事項

危機管理及び災害対応

◇都市公園やスポーツクラブの運営、マニュアルの整備や指揮系統の確立、体制の構築などによる、お客様の安全を確保するノウハウと実績を活かし、万全の対策を講じるとともに、発生時の被害を最小限に留めます。

地球環境への配慮

◇「東京環境確保条例」に基づき、各種環境施策を踏まえ、エネルギー使用量の抑制に取組みます。  
◇「PDCAサイクル」の取組み、「もったいない（環境3R+R）」の「4R」行動を推進します。

個人情報の保護

◇「海の森水上競技場個人情報保護マニュアル」を作成、個人情報保護方針を定め、適正な管理を行います。  
◇「情報セキュリティ基本方針」及び「パソコンネットワーク管理運営要領」に沿った対策を講じます。

6. 収支計画

◇当共同企業体のこれまでの多くの実績とネットワークを活用し、利用者ならびに東京都にとって効果的・効率的な管理運営を実行できるスタッフ体制とし、各構成団体の強みを発揮できる無理無駄のない収支計画を策定しました。

- 年間来場者目標35万人を達成することで、利用料金収入を確保します
- 利用者のニーズを掴んだ自主事業・利用者サービスの提供により、安定的な収入を確保します
- 魅力的なイベントを開催し、全般的・広域的な利用と安定的な参加料等収入を確保します